

本との新しい出会い、はじまる。

BOOK MEETS NEXT

この秋、本に関わる人たちが一丸となって、読書の秋を盛り上げる新たなキャンペーンが始まります。題して「本との新しい出会い、はじまる。BOOK MEETS NEXT」。10月27日から11月23日の28日間、全国一斉に開催されます。その初日の記念イベントとして、豪華なゲストによる講演や対談が行われます。

オープニングイベント

2022 **10/27** 木

18:30開場 19:00開演 (20:45終了予定)

紀伊國屋ホール

新宿区新宿3-17-7 紀伊國屋書店新宿本店4階

300名 無料招待

右のQRコード、もしくはJPICのホームページ (jpic.or.jp) よりお申込みください。

お申込みは先着順となります。

定員をオーバーした場合は
お申込み出来ません。



開催
内容

① 記念講演会 **今村翔吾さん** 「テーマ:本の旅」

② 記念対談 **角野栄子さん** **中江有里さん** 「テーマ:出会い」



今村翔吾

1984年京都府生まれ。滋賀県在住。「火喰鳥 羽州ぼろ齋組」でデビュー。「童神」で第10回角川春樹小説賞。「八本目の槍」で第41回吉川英治文学新人賞。「じんかん」が第11回山田風太郎賞。「塞王の橋」で第166回直木賞を受賞。他の著書に「くらまし屋稼業」シリーズ、「幸村を討て」などがある。2021年11月には大阪府真面目市にある書店「きのしたブックセンター」を事業継承し、また、これまでのお礼を伝えるため2022年5月より4ヶ月間かけ全国の書店や学校(計270ヶ所)の行脚をした。



角野栄子

東京・深川生まれ。大学卒業後、出版社勤務を経て24歳からブラジルに2年滞在。その体験をもとに描いた「ルイジニョ少年 ブラジルをたずねて」で、1970年作家デビュー。代表作「魔女の宅急便」は舞台化、アニメーション・実写映画化された。産経児童出版文化賞、野間児童文芸賞、小学館文学賞等受賞多数。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。2016年「トンネルの森 1945」で産経児童出版文化賞ニッポン放送賞、2018年3月に国際アンデルセン賞作家賞を、日本人3人目として受賞。2023年に「江戸川区角野栄子児童文学館」が東京・江戸川区に完成予定。



中江有里

女優・作家・歌手。1973年大阪府生まれ。法政大学卒。89年芸能界デビュー。NHK朝の連続テレビ小説「走らんか!」ヒロイン、映画「学校」、「風の歌が聴きたい」など出演。NHK BS2「週刊ブックレビュー」で長年司会を務めた。読書に関する講演、小説、エッセイ、書評も多く手がける。著書に小説「わたしたちの秘密」(中公文庫)、「水の月」(潮出版社)、「万葉と沙羅」(文藝春秋)など。2022年5月にアルバム「Impression-アンプレッション」をリリース。文化庁文化審議会委員。